# 壱岐島リブートプロジェクト

～観光施設の再生から、島の経済をリブートするプロジェクト～

チーム：壱岐イルカパーク＆リゾート

長崎県　壱岐市　SDGs未来課　中村勇貴

# 壱岐市の概要

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

・九州北部、韓国との間に浮かぶ国境離島

・人口：25,643人（R3.7.31現在）

・面積等：139.42㎢　周囲約191km

・広域：南北約17km、東西約15km

※山手線１周よりちょっと大きい

・福岡市から高速船で約１時間

・東京から最短４時間

・H30：SDGs未来都市選定

・自治体初「気候非常事態宣言」

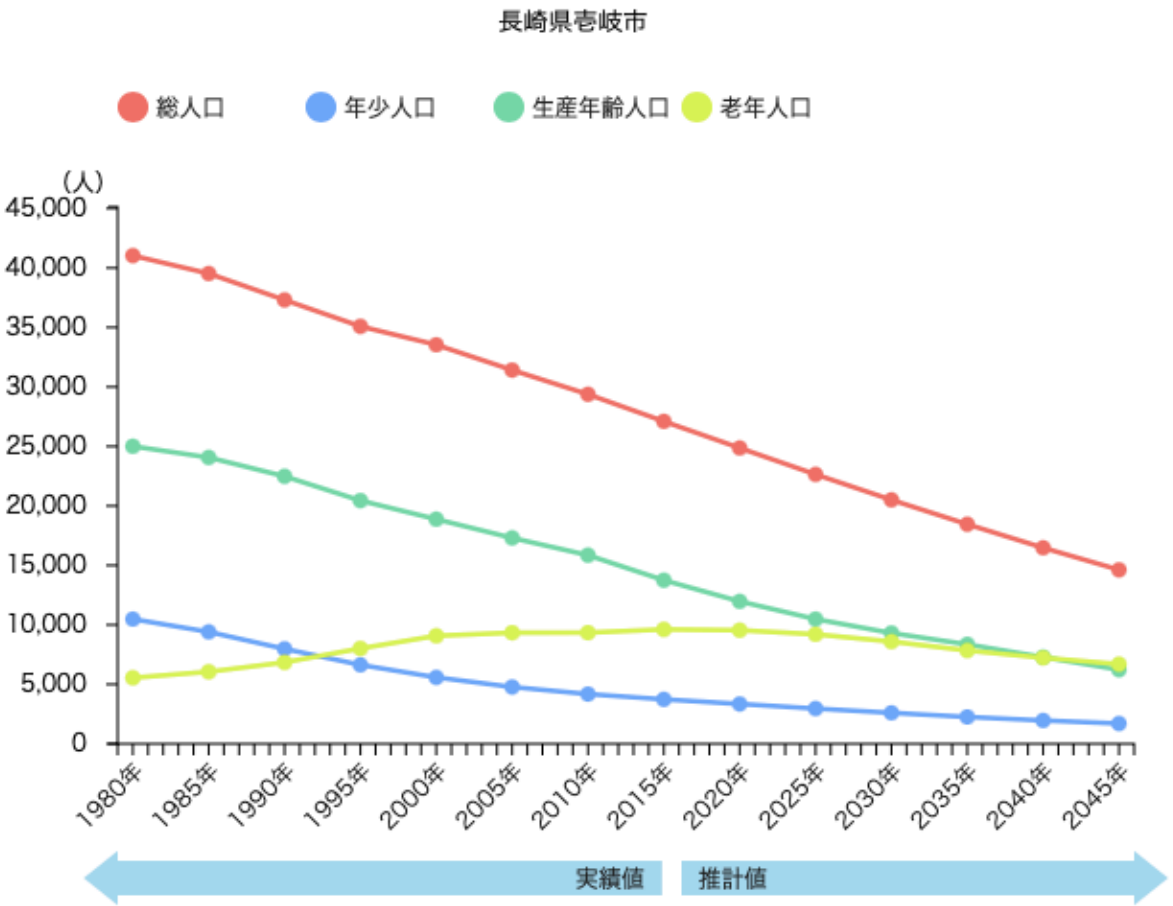
・特定有人国境離島地域

# 壱岐市の課題分析

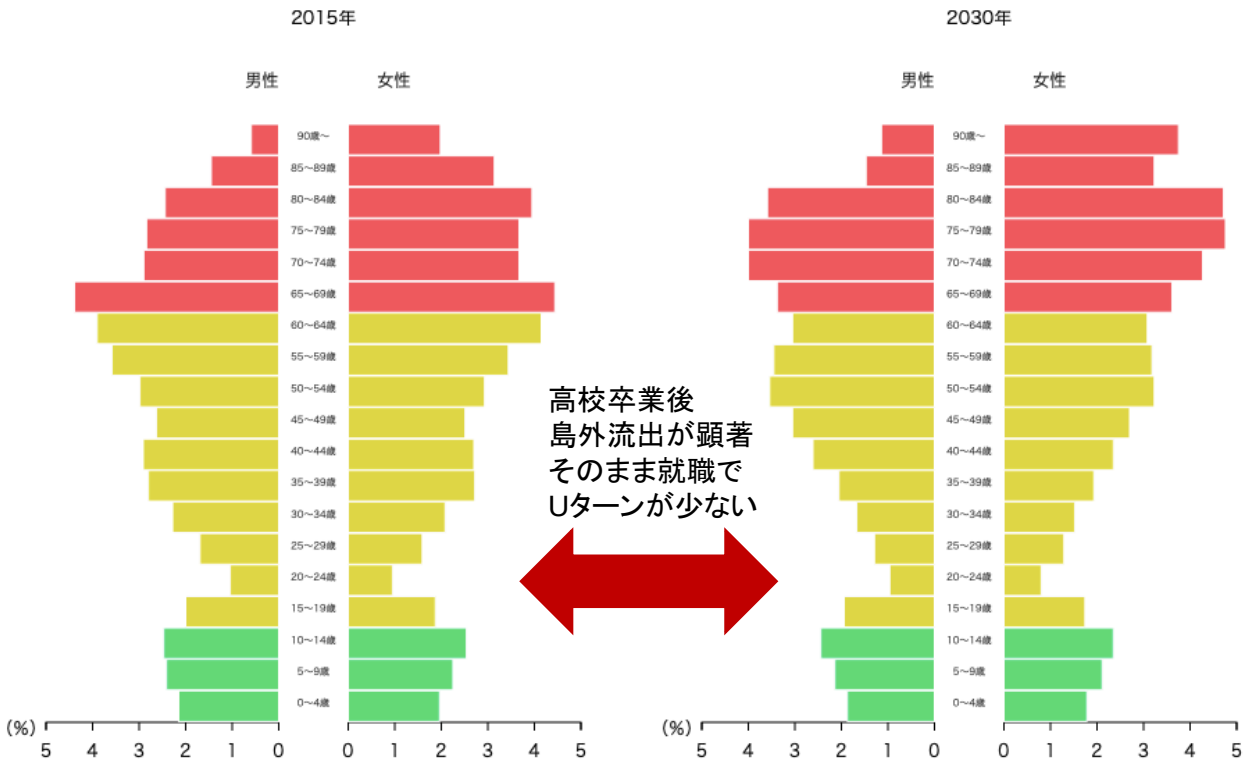
長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

・人口減少　2020年：約26,000人　→ 2030年：約20,000人　旧４町中、１町なくなる規模。

・高齢化比率は、日本平均の25年先水準の超高齢化社会。生産年齢人口の減少による産業弱体化が課題。




【出典】RESAS（地域経済分析システム）
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



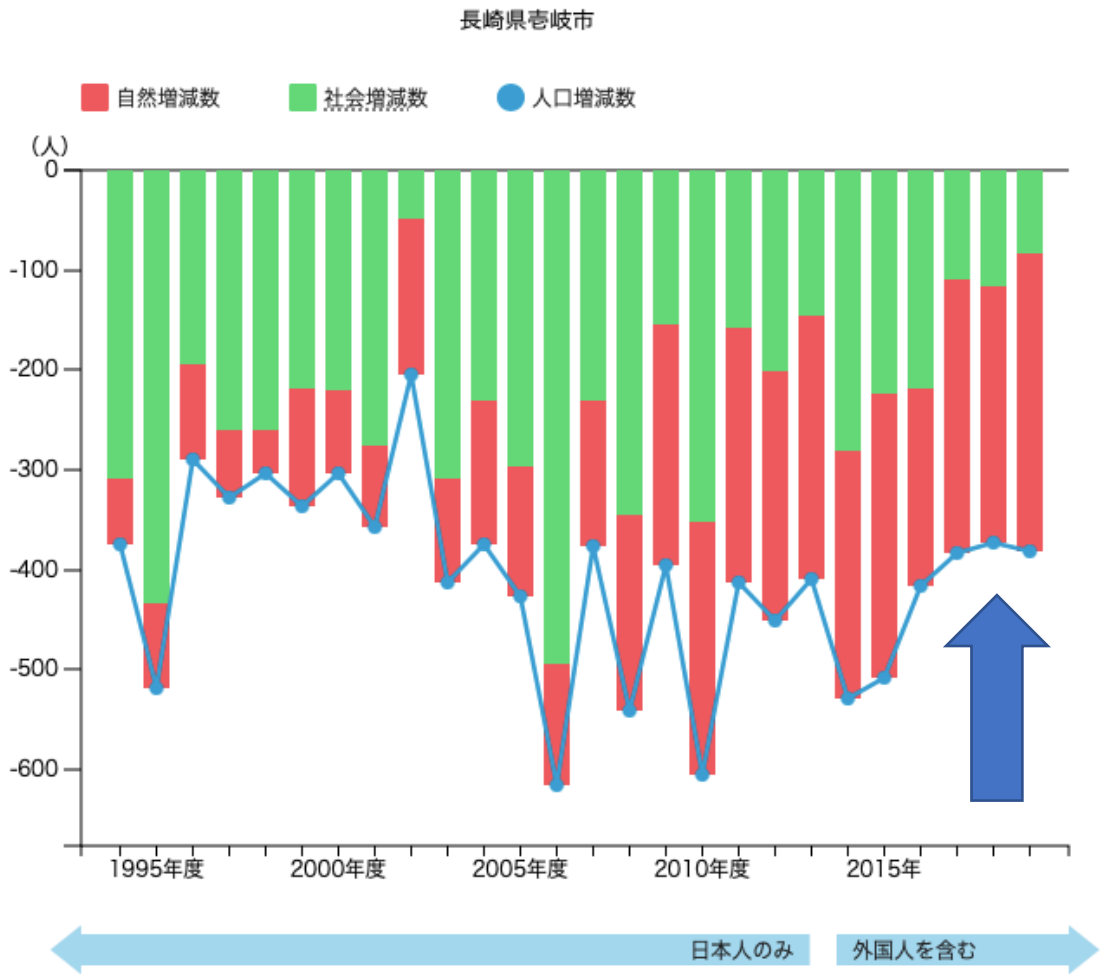

【出典】RESAS（地域経済分析システム）
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

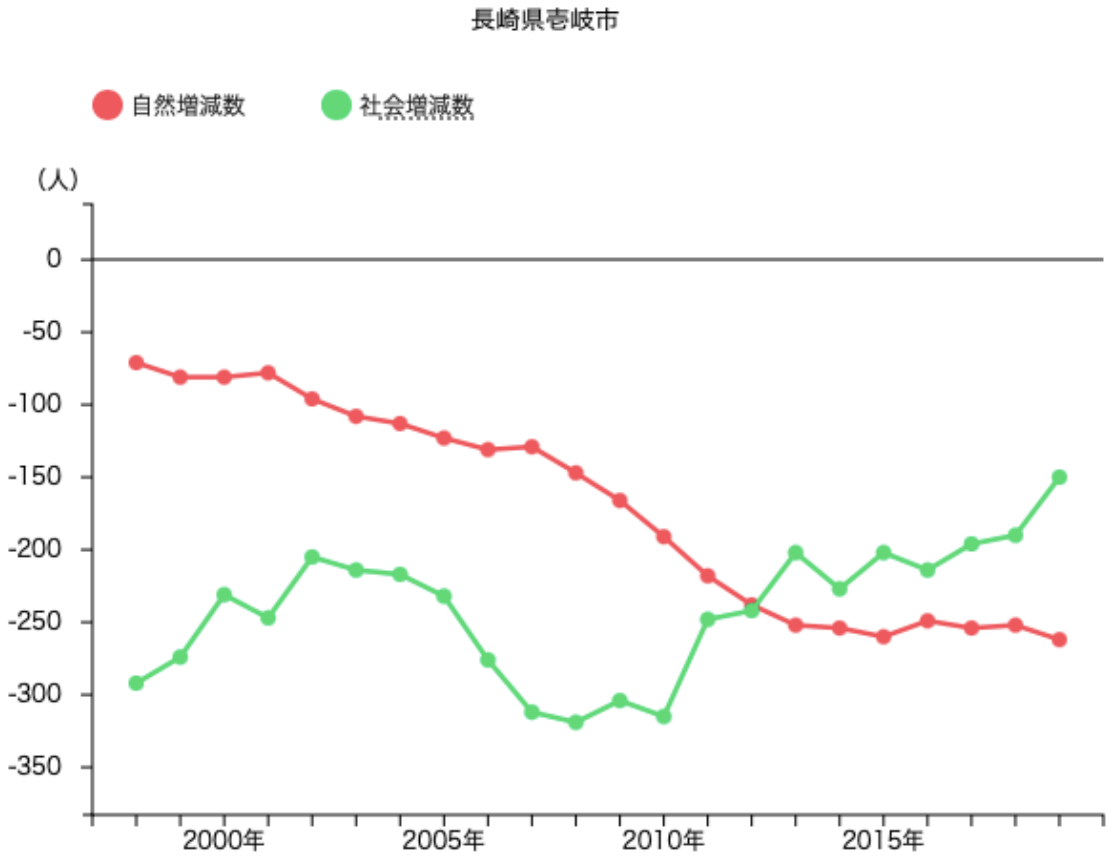
# 壱岐市の課題分析

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

・人口減少は、高齢化により自然動態が増加傾向。少子化により社会動態は減少傾向。

・2015（H27)以降、地方創生、SDGs、有人国境離島法等の各種施策により一定の流出抑制が見られる。




【出典】RESAS（地域経済分析システム）
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

# 壱岐市の課題分析

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

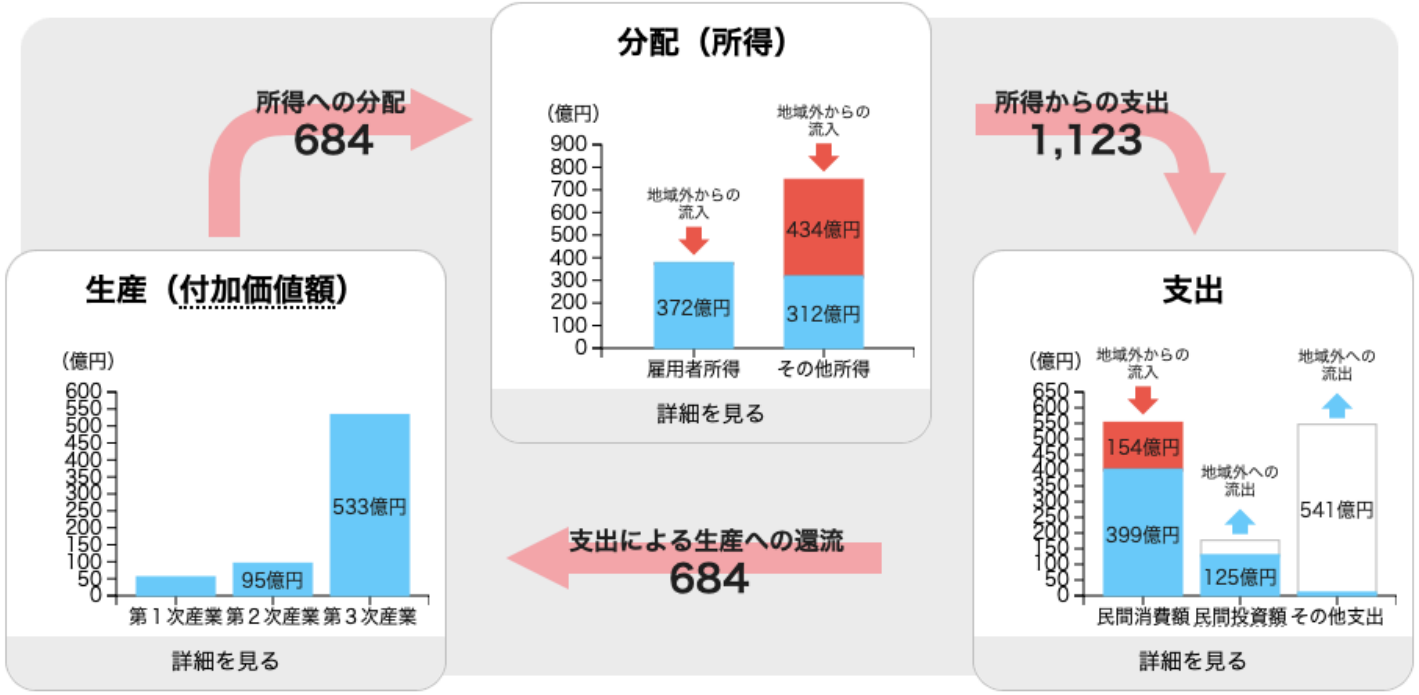
・一次産業の出荷も島外市場中心、地域内消費も観光消費等地域外からの流入が多い。

・人口減少で地域内消費の増加を見込みにくい中で、観光産業を中心に外貨獲得可能な産業の付加価値額、労働生産性、雇用力を高めていく必要がある。

地域経済循環率
**60.9%**

## 地域経済循環図
**2015年**

指定地域：長崎県壱岐市




【出典】RESAS（地域経済分析システム） 地域経済循環図
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

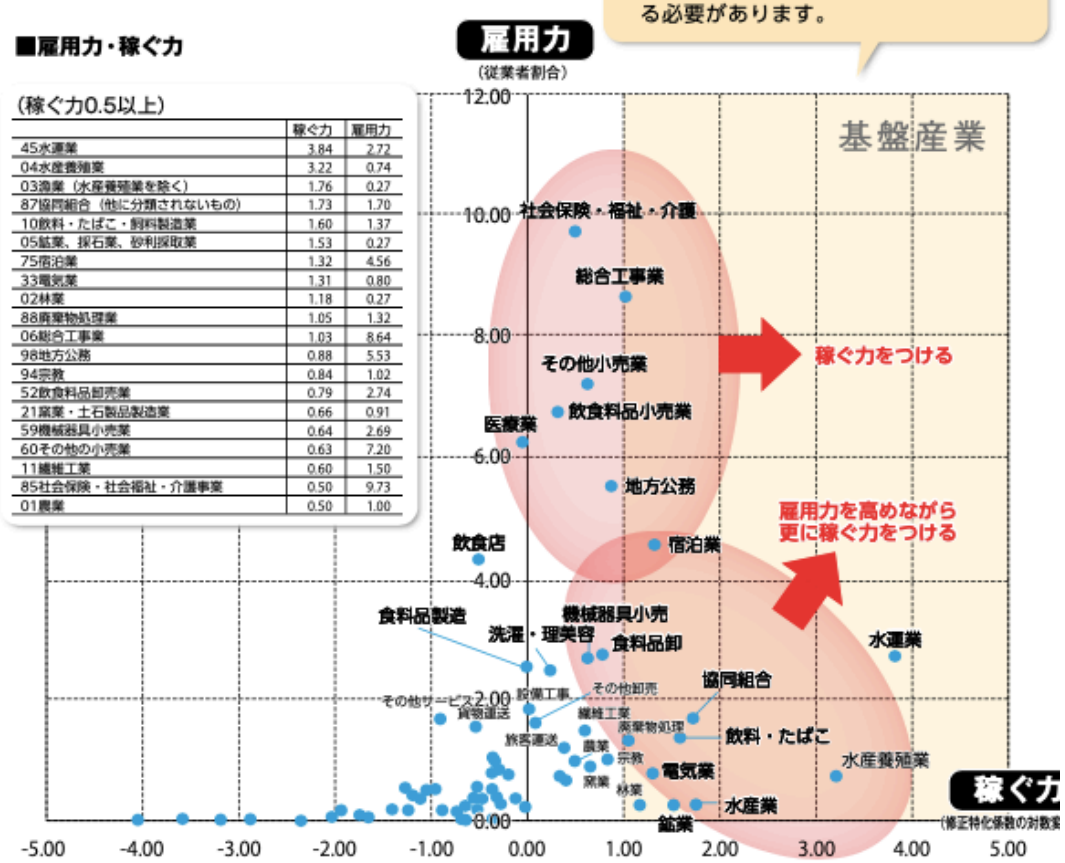
【出典】第3次壱岐市総合計画より

統計学的にみると、地域の人口を**1万人増**やしたいならば、基盤産業（稼ぐ力1.0以上）で新規雇用を**約770人創出**する必要があります。

■雇用力・稼ぐ力

(稼ぐ力0.5以上)

| | 稼ぐ力 | 雇用力 |
|---|---|---|
| 45水運業 | 3.84 | 2.72 |
| 04水産養殖業 | 3.22 | 0.74 |
| 03漁業（水産養殖業を除く） | 1.76 | 0.27 |
| 87協同組合（他に分類されないもの） | 1.73 | 1.70 |
| 10飲料・たばこ・飼料製造業 | 1.60 | 1.37 |
| 05鉱業、採石業、砂利採取業 | 1.53 | 0.27 |
| 75宿泊業 | 1.32 | 4.56 |
| 33電気業 | 1.31 | 0.80 |
| 02林業 | 1.18 | 0.27 |
| 88廃棄物処理業 | 1.05 | 1.32 |
| 06総合工事業 | 1.03 | 8.64 |
| 98地方公務 | 0.88 | 5.53 |
| 94宗教 | 0.84 | 1.02 |
| 52飲食料品卸売業 | 0.79 | 2.74 |
| 21窯業・土石製品製造業 | 0.66 | 0.91 |
| 59機械器具小売業 | 0.64 | 2.69 |
| 60その他の小売業 | 0.63 | 7.20 |
| 11繊維工業 | 0.60 | 1.50 |
| 85社会保険・社会福祉・介護事業 | 0.50 | 9.73 |
| 01農業 | 0.50 | 1.00 |



# 壱岐島リブートプロジェクト

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

・地域GDPを増加させるには。GDP＝消費＋投資＋政府支出＋（輸出－輸入）。まずは外貨獲得！

・壱岐イルカパークの再生により観光集客力を高め、周遊観光のハブ施設として、地域内ステークホルダーを繋ぎ、地域内連携を強化することで、観光消費拡大、滞在時間の延伸による地域経済の活性化を目指す。

Before

# これまでのイルカパーク

- 壱岐島の最北端　漁師町　勝本町
- イルカは漁師のライバル対立した歴史も
- 対立から、共生へ方向転換
- 1995年（平成7年）に開園
- 自然の入江を仕切って作られた施設
- 入園料200円
- 入園者数25,000人（過去最高：約7万人）
- 売上500万円　管理経費3,000万円
- 毎年2,500万円赤字の観光施設
- 体験等もほとんどなく。
- イルカがいるだけの自然公園

# きっかけ

- イルカと純粋に向き合うトレーナーとの出会い
  →潜在していた魅力とポテンシャルの再発見。
- 施設再生に必要なノウハウを持った外部人材（キーパーソン）との出会い
  →島外目線、お客様目線、マネタイズ、情報発信力 etc…

# プロジェクトのポイント

- 空間デザイン 「どこにいても、イルカとともに」
- 島の人の「当たり前（自然、食、体験）」の価値を見直す。
- 豊かな自然資源を適正なサービスとして提供、マネタイズ

目標

入園者数 5万人 客単価1,000円以上

# プロジェクト推進主体を官民連携で設立

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

IKI PARK MANAGEMENT株式会社

本プロジェクトのキーパーソン（東京大学大学院大気海洋研究所出身、大手広告代理店勤務と海洋哺乳類に関する知識と、PRマーケティングスキルを持つ）と、本プロジェクト全体をマネジメントするDMCを設立。

公共施設の指定管理移行から将来的な民営化（特にイルカ飼育技術の継承）を円滑に行うため、第三セクター方式により、法人を設立し事業を推進。

豊かな自然も物見遊山型の観光に留まり、体験など深く満喫する仕掛けが不足していることから、魅力を最大化するためのサービス開発を行う。

また、地域内事業者と連携し、様々なサービスで、顧客をシェアすることで、観光消費を拡大し、地域内経済循環を生む。

地域内競合に注意しつつ、既存サービスの隙間を埋めるビジネスを展開することで、島全体のホスピタリティ向上に努める。

## 壱岐島リブートプロジェクト推進体制

### IKI PARK MANAGEMENT株式会社（第三セクター）

本プロジェクトの全体を統括する組織（DMO、DMC）を設立を目指す。その組織の下、イメージ戦略、ブランドコントロールを徹底しつつ、民間企業の経営力やノウハウを最大限活用し、自走し、継続する取組を推進する。
マネタイズされていない価値のある資源（自然、食、歴史文化、体験）をブラッシュアップし、来訪者に適正な価値で提供する体制を構築する。
これにより、島内経済を興し、雇用の場を創出することで、UIターンで若い世代の移住定住に繋げ、地域経済の活性化と人口減少の抑制に寄与する。
（交付金事業終了後、民営化を予定）

### イルカパーク再生

**・イルカパークの再生と経営**
**・島内のアウトドア関連事業**
イルカパーク：イルカを自然に限りなく近い姿で観察ができ、自然繁殖を目指す。壱岐島の捕鯨の歴史を後世に伝えつつ、ヒトとイルカが共存する生き方を提案する、遊びと学びと体験がひとつになった施設とする。
辰ノ島、串山キャンプ場など、島全体のアウトドアアクティビティ拠点の整備と施設管理運営を行う。アウトドアアクティビティの機材レンタル、ガイド、その他管理運営。（例：カヤック、ダイビング、トレッキング、ホースライディングなど）

### その他の事業

幅広い観光ニーズに対応するため、現状島に取り込めていない需要を呼び込むため、**既存サービスの隙間を埋めるビジネスを展開。**

企業研修、テレワークなどへの対応。
教育旅行、団体旅行への対応強化

地域事業者と連携したサービスと顧客をシェアする仕組みの構築

島の自然、食材を生かした商品開発など

### 旅行業（または代理業）

**・島内観光の総合窓口**
**・コンシェルジュ&オーダーメイドツアーサービス（例：滞在中の旅程の提案、予約、移動手段、宿泊手配など）**

現状、各事業者が顧客を取り合っている状況の各種サービスの特徴や枠を一元管理し、来島者のニーズに合わせてコーディネート。予約も含めて細かくサービスを提供する。

受け身の観光から、攻めの観光へ、地域に積極的に呼び込む仕掛けづくり

### 国内

- 旅行者
- 企業研修
- テレワーカーワーケーション
- クリエイター、アーティスト

### 海外

- インバウンド旅行者

### 壱岐市

地方創生推進交付金
特定有人国境離島地域社会維持推進交付金などをHybrid活用し、支援するとともに、他の観光施策との連携により、効果を最大化する。

### 壱岐島内事業者との連携

宿泊事業者、体験プログラム、飲食店、農業、漁業、テレワーク
壱岐焼酎、壱岐神楽、神社、国指定特別史跡原の辻遺跡、古墳群

# リニューアルに伴う仕掛け

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## ■壱岐イルカパーク＆リゾートの体制強化

・イルカと人の距離をゼロに空間デザイン
「どこにいてもイルカとともに」をコンセプトに、空間全体をデザインするとともに、イルカとヒトの距離を限りなくゼロに近づける仕掛けづくりを行なった。

・一日中イルカとコミュニケーション
イルカとのふれあい体験プログラムを追加（イルカの飼育管理強化と並行して実施）１日中、いつでも体験プログラムに参加できる体制に。

・ビジネス研修プログラムを開発
イルカのトレーニング技術は行動分析学の理論に基づくため、子育てからビジネスまで幅広いコミュニケーション力向上に転用できるスキルが多いことから、イルカのトレーニングを活用した人材育成研修プログラムを開発。

# リニューアルに伴う仕掛け

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

**■管理棟をリニューアルし、カフェ設置、テレワーク・ワーケーション対応も**

これまで体験プログラムも１日数回、施設内にはジュース自動販売機しかなく、時間帯によっては、施設に入っても、イルカがいるだけの公園という状況であったため、施設内の滞在品質向上により、滞在時間を延伸することで、イルカとのふれあい体験などアクティビティへの参加率を上げることを目的に、カフェ機能を追加。

テレワーク・ワーケーションに対応。カフェ内でのWi-Fi、電源フリー。また、アウトドア用の椅子、テーブル、ポータブルWi-Fi、モバイルバッテリーのレンタルで、島中どこでもテレワークサービスも提供。

# リニューアルに伴う仕掛け

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## ■キャンプ、BBQ

壱岐イルカパーク＆リゾート内で、１日１組限定、イルカの暮らす海の真横で泊まることのできるグランピングサービスを開始。

地域内のキャンプ場で、手ぶらでキャンプを楽しむことのできるキャンプ機材のレンタルサービスを開始。離島へのキャンプ資材の運搬（マイカーでの持ち込みなど）のハードルを下げるとともに、設営・撤去サポートにより、初心者でも気軽に楽しむことができるサービスを提供。

# リニューアルに伴う仕掛け

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## ■SUP、カヤック等
## マリンアクティビティ

地域漁協と調整をすすめ、海面利用許可を取得。
SUP、カヤックなどのマリンアクティビティの提供を開始。

# リニューアルに伴う仕掛け

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

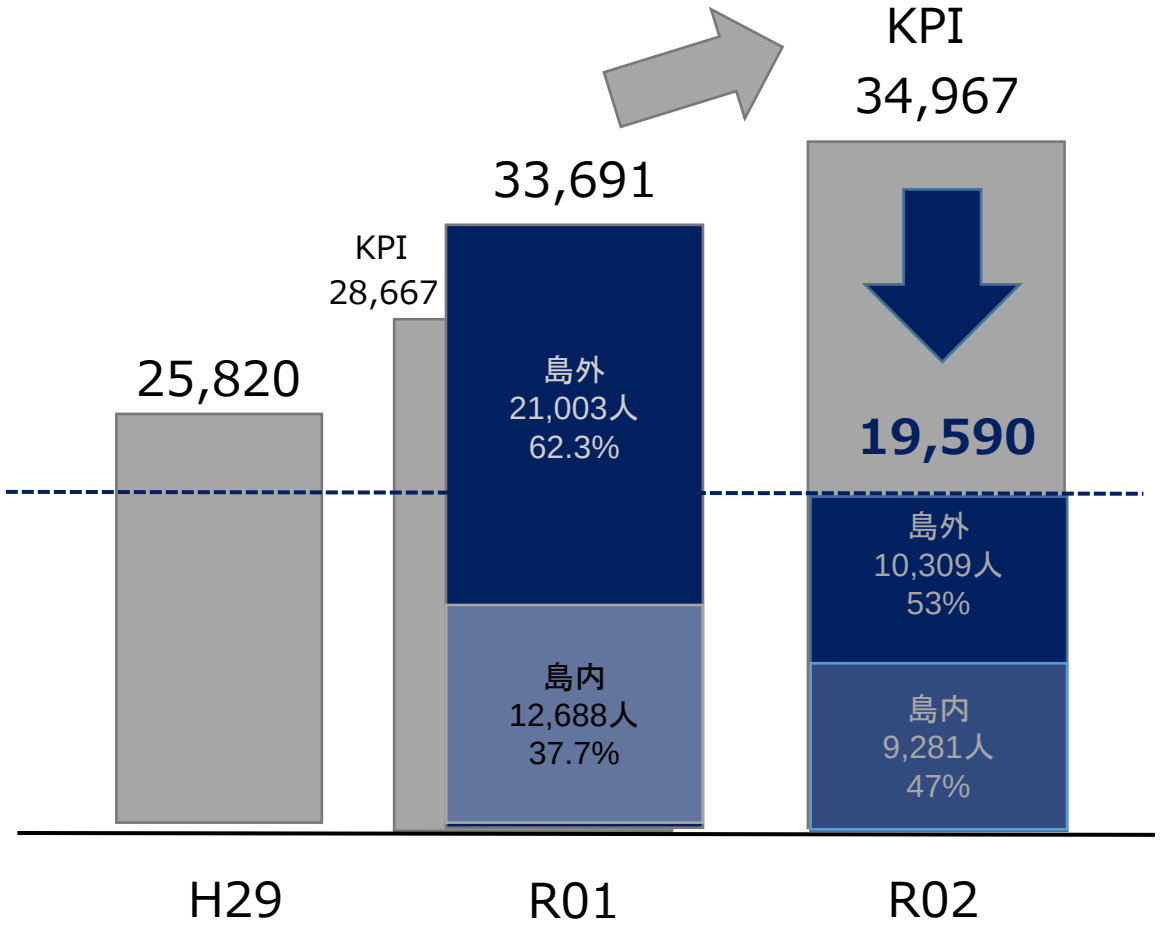
## ■釣り、遊漁船連携

地元漁師が新たに開始した遊漁船と連携し、初心者向けの短時間の沖釣りから、愛好家向けの本格的な釣りまで、満喫できるサービスの提供開始。

# リニューアル結果は

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## 実績①　入園者数




令和2年度

**19,590人**

（島外10,309人、島内9,281人）

**41.9%減少**

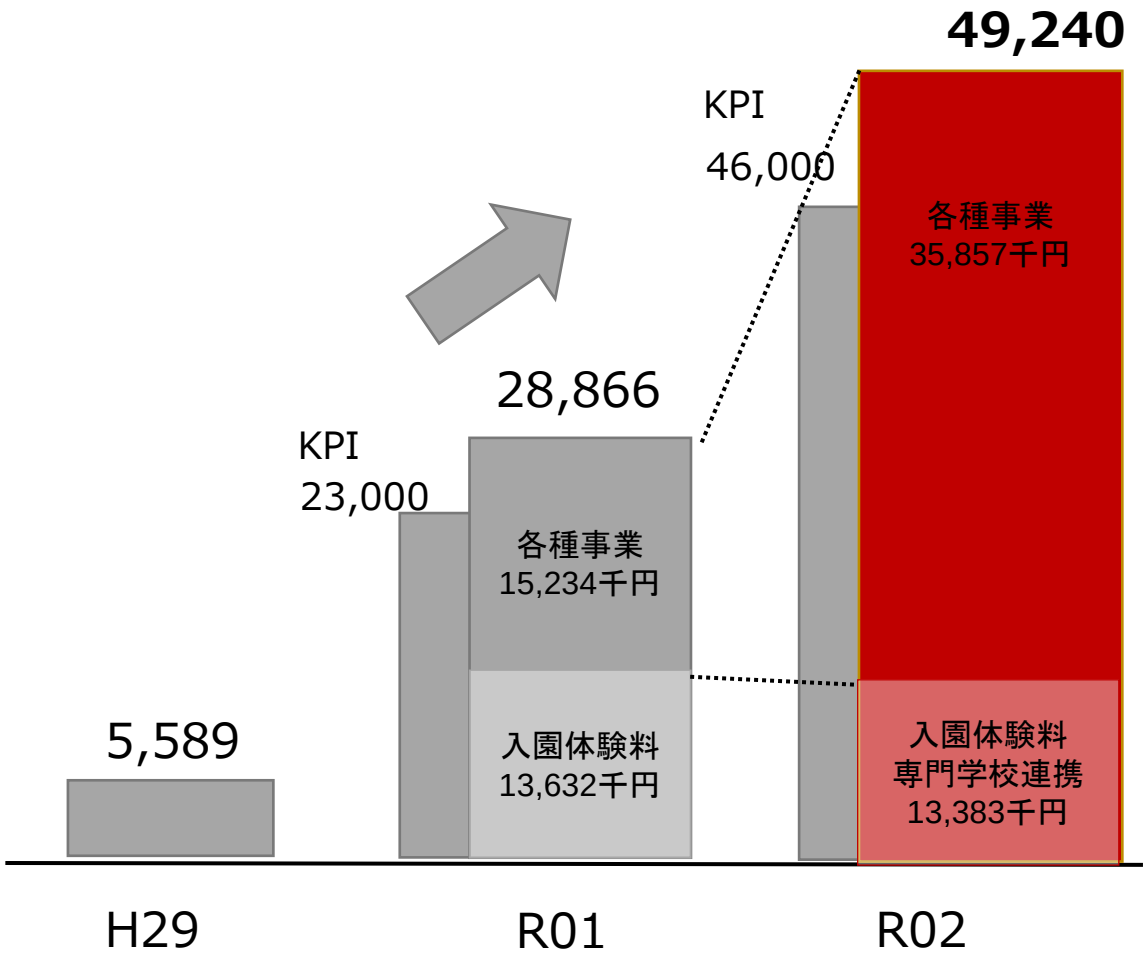
(前年比14,101人減)

コロナ禍の影響大

# リニューアル結果は

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## 実績②　売上




令和2年年度

**49,240千円**

客単価が1.8倍に
(857円→1,571円)

前年比**70%増加**

(前年比20,374千円増)

コロナ禍でも売上は伸びる。

# リニューアル結果は

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

- 1年目：入園者　3万3千人　客単価857円

- 2年目：入園者　1万9千人　客単価1,571円

受入体制は整い、客単価も向上、しかし
本格稼働の２年目に、まさかのコロナ禍…
逆境に耐えつつ、観光需要回復を待つのみの状態

# 地域への波及効果

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

人の流れが生まれたことで、
新たなビジネスや施設リニューアルなど
**徐々にまちが活性化！**

長崎県　唯一のクラフトビール醸造所がオープン

辰の島遊覧チケット売り場等がリニューアル

# 壱岐イルカパーク2.0 NEXT Stageへ

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## “No one will be left behind”

コロナ禍で、厳しい状況に陥りました。

しかしながら、改めて「内省」する時間ができたことで

様々な気付きと出会いから、次のステージへ進もうとしています。

「誰一人取り残さない」

人とイルカのゼロ距離を実現を目指す壱岐イルカパーク

そして、「島」だからこそ、取り組むことのできるサービスを準備中。

# 壱岐イルカパーク2.0 NEXT Stageへ

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## “自由に使わせて欲しい”

## 施設ではなく心のバリアフリー

施設面のバリアフリーは、対応に限界があり、後回しに、

無意識にターゲットから外れていた。

ある障害者支援施設経営者の一言で、目から鱗

「あなたたちに介助は求めていない。万全の準備で来ている。自由に使わせてくれることがバリアフリーだよ」

障害のある人でも、島の自然やイルカとのふれあいを楽しむことができる環境を整える。

・ユニバーサルツーリズム　・ドルフィンセラピー

# 壱岐イルカパーク2.0 NEXT Stageへ

長崎県 壱岐市
実りの島、壱岐

## “島と向き合う”島の日常に学ぶ

島の現状と向き合い、学ぶ。

漂着ごみ問題。

地球温暖化による海水温の上昇。

（壱岐近海は日本平均以上の上昇値（気象庁HPより））

魚道の変化。漁業への影響。

地域の人も、島外から訪れる人も、「島」を通して、地球の今を、自分たちの生活を見直して、主体的に考え行動する変化のきっかけを作る。

・海洋教育、SDGs、教育旅行

・自然で学ぶキッズキャンプ

・企業研修・合宿プログラム

# DRCとの出会い

@米国フロリダ州　国内初、施設としてのパートナーシップ協定

## ～Relationship Based Training～

ドルフィナリティを尊重する。
誰もがイルカと会話するようにコミュニケーションできる世界に
DRCのRelationshipメソッドを取り入れ
イルカとともに、人の意識、行動変容を促していく

世界中のどこよりも、ヒトとイルカの距離が近い場所へ

私たちが体現するRelationshipを通して

人も動物も信頼関係で結ばれた豊かな未来へ

誰一人取り残さない持続可能な社会へ

何十年か先の未来に向けた第一歩を

応援よろしくお願いします。